

後期始業式 令和3年10月1日(金)

昨日は、前期終業式を行い、後期初日である本日は、後期始業式を行いました。

式辞で校長は、「時の流れは、元に戻らず、止まるものではない。この瞬間もすぐに過去になり、未来も現在になる。人類は1年の区切りを設けたが、12月31日と1月1日は1日の違いだが、1月1日は年が改まる節目であり、そのような節目は大切である。昨日は前期の終業式を行い、今日は1日しか変わらないが、後期が始まる節目の日である。終業式では、学年目標のことを話したが、目標を常に頭に置いて行動するといつかは実現する。学年目標のもと、後期はどんな自分になりたいか、そのためにはどうすればよいか、今日から一步を踏み出してほしい。だが、時には立ち止まって、原点に戻ることや振り返ってやり方を見直すことも大切である。この繰り返しである。後期も頑張ってもらいたい。」と生徒を激励しました。

生徒は、節目の日に、気持ちを新たに、後期への決意を抱いて、真剣に話を聴いていました。

終業式のあと生徒は教室に戻り、ホームルームを行ったあと、早速、6限まで通常の授業で学習に取り組みました。



【校長 式辞】



【真剣に式辞を聴く生徒たち】